

平成29年度(2017年度)第6回三者懇談会（吹田市立南保育園）

- 1 開催日時 平成29年10月17日(火) 午後7時～午後8時20分
- 2 開催場所 南保育園 遊戯室
- 3 出席者 南保育園父母の会会長、その他保護者18名
社会福祉法人こばと会（こばと会理事長、こばと保育園長、こばと保育園保育士、さくら保育園保育士）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室係員、南保育園長、南保育園長代理、南保育園保育士）
- 4 議題 1 合同保育について
2 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第6回三者懇談会を開会いたします。はじめにお手元の資料確認をさせていただきます。

（資料の確認）

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様について御紹介させていただきます。

（出席者紹介）

給食試食会の感想

吹田市： 先日は2回にわたり、こばと会に給食試食会を開催していただきました。父母の会会長からこばと会に、一言からお礼を申し上げたいとお聞きしております。

保護者： 7月と9月の2回にわたって給食試食会を開催していただき、ありがとうございました。試食会に参加された方から、旬の野菜を使っていて大変美味しかったと好評でした。実際に参加された保護者の方から感想をいただきたいと思います。

保護者： 7月の試食会に参加させていただきました。旬の野菜を使い、具材もたくさん入っていました。五分づき米のご飯は歯ごたえがあって、とても美味しかったです。私は給食費が上がっても、子どもに食べさせてあげたいなと思いました。

保護者： 私も7月の試食会に参加させていただきました。うちの子は、五分づき米は初めてだったので、食べるのにすごく時間がかかっていました。かき揚げは、私は美味しいと思いましたが、子どもには硬かったみたいです。かぼちゃも硬かったみたいですが、それ以外のおかずは頑張って食べていました。家で、もう少し硬いものが食べられるように練習しないといけないと思いました。こばと会の給食が始まったら、食べるのに時間がかかって先生にご迷惑をかけるかもしれませんが、よろしく願います。給食試食会ありがとうございました。

こばと会： 三者懇談会は6回目になりました。皆さんの顔を少しずつ覚えてこれたかなと思っています。合同保育が始まって半年が過ぎましたが、保護者の皆さんに暖かく迎えていただいて本当にありがたく思っております。南保育園の様々な行事を見させてもらいながら、公立保育所が行ってきた保育を、子どもたちに変化があまりないようにしながら精一杯引継いでいきたいと思っています。不安がないとは言えませんが、保護者の皆さんと話し合いながら、少しでもその不安を取り除けるように頑張っていきたいと思っております。

吹田市： ありがとうございました。

次に、パート・アルバイト職員の雇用状況を含めて、何点かこばと会からご報告事項があるとお聞きしております。

こばと会からの報告等

こばと会： 給食の御意見ありがとうございました。こばと会では、離乳食が終わったら五分づき米を食べていただいています。栄養面だけでなく咀嚼力をつけていくという狙いもあります。南保育園のお子さんは今まで食べていませんので、戸惑う子もいると思います。五分づき米でなければ給食を提供できないわけではないので、保護者の方の御意見を聞きながら考えていきたいと思っています。

南保育園のパート・アルバイト職員のこばと会での継続雇用についてお伝えします。法人の経営的には厳しいのですが、園児や保護者の方にとって、現在勤務

している先生に残っていただくことが何よりも安心につながると考え、最初に提示した労働条件を変更する努力を行いました。その結果、アルバイト職員は6名の方に履歴書を提出してもらい、こばと会での雇用意思表示をしていただきました。雇用契約をこれから締結する予定です。その他に、現在南保育園で働いてはいませんが、公立保育所での勤務経験のある方も雇用する予定です。

パート職員の方に対しても説明会をさせていただき、10名の履歴書をお預かりすることができました。全員ではありませんが、多くの方に引き続き南保育園で働いていただくことができそうです。

また、来年1月から合同保育に参加する職員についてお知らせいたします。氏名はまだお伝えできませんが、来年の4月で保育経験がそれぞれ18年、13年、8年、7年、5年の保育経験を持つ保育士を派遣する予定です。この中には男性保育士が1名含まれています。

そして、南保育園ではありませんが、公立保育所でアルバイト経験のある看護師と、8年の保育園経験をもつ栄養士（調理員）も派遣する予定です。

次に、南保育園とこばと会の2園会議の中で話し合った内容についてご報告させていただきますと思います。まず土曜保育の申し込みについてです。保育体制を整える必要がありますので、今は金曜日までに土曜保育の利用確認をしていただいています。木曜日に変更させていただきたいと思っています。もちろん、申込みを忘れてしまったとか、木曜日にお休みしていたという場合には対応させていただきますが、木曜日までをお願いしたいと思っています。

また、これまで三者懇談会の中で質問があった連絡帳についてです。南保育園用の連絡帳を新たに作りたいと思っています。40周年の時にTシャツを作ったと聞いていますので、その時のロゴマークを使った連絡帳を作りたと思っています。0～2歳児クラスは今まで通り印刷した用紙を使い、3～5歳の幼児クラスは新しい連絡帳を使ってもらいたいと思っています。移管初年度に限り、この連絡帳を1冊無料でお渡しします。2冊目以降もこの連絡帳を使いたいという方は1冊250円になります。

もちろん、この連絡帳でないといけないということはありません。今まで通り、印刷した用紙がいいという方には印刷させてもらいますし、ご自身で購入されたノートでも構いません。新しい連絡帳を作成して、移管初年度は1冊を無料でお渡しするというをお伝えします。

最後に、布団の取扱いについて御説明いたします。在園児の方は、今まで通り

吹田市から支給された今の布団をそのまま使用してもらいます。シーツの取扱いも今まで通りです。また、年一回の業者による布団乾燥についても、こばと会が負担しますので今まで通り行いたいと思っています。

それに対して、新入园児の方は、原則として個人の布団を持ってきてもらいたいと思っていますが、卒園児の布団が園に残りますので、それでよければ、希望する方にお渡しします。ただし、この布団は在庫に限りがあります。お渡しした後は個人持ちになりますので、洗濯乾燥等は各自でお願いすることになります。

園での布団干しは今まで通り、在園児も新入园児も曜日ごとにクラスで行っていきます。

在園児であっても、個人の布団を持ってきたいという方は持ってきてもらっても構いません。ただし、その場合は年一回の布団乾燥はできませんので、必要に応じて持って帰っていただくことになります。

吹田市： 吹田市からも報告がございます。

保護者の皆さんもご覧になっていると思いますが、園で修繕工事を行っております。通用門の門扉交換と内側に安全対策のためにフェンスを設置しております。その結果、園内に一定のスペースが確保できますので、これまで送迎時に道路に停めていた自転車を園内に停めていただくと考えています。

近日中には工事を終える予定ですので、工事が終わり次第、利用開始時期や利用方法等を保護者の皆様にお伝えいたします。

また、前回の三者懇談会でお話のありました、園児の交通安全対策ですが、市の道路管理担当部局に依頼しまして、園前の3本の電柱に車の徐行を呼びかける電柱幕を設置いたしました。

③ 合同保育について

吹田市： 本日も、南保育園で合同保育を行っている羽谷保育士と山本保育士に御参加いただいています。前回の三者懇談会の際にもお話をお聞きしましたが、前回から4か月程経過しましたので、新たに気づいたことや、現在感じておられることなどをお話しいただきたいと思っています。

こばと会： （羽谷保育士）私は乳児クラスを中心に入っていますが、全園児としっかり関わっていききたいので、もも組に1か月入ったり、ぶどう組に運動会前2週間くら

い入らせてもらっています。一緒に遊んで楽しいと思ってもらったり、自分のことを理解してくれる先生と思ってもらえるような関係をこの1年間でしっかり作っていきたいと思っています。

前回もお話させていただきましたが、子どもたちへの働きかけや大切にしている遊びなどはこばと会が行っている保育と大きな違いはないと感じています。実際に保育をしながら、南保育園の先生たちと共感できるのはうれしいですし、すごく安心します。

強いて言えば、こばと会ではあまり踊ったり体操をしたりしませんので、今必死に覚えているところです。私達も早く覚えて子どもたちと一緒に体操ができるようにしていきたいと思っています。あと、エイサーなどの民舞を大切にしているところは、こばと会と共通する部分があります。今まで南保育園が大切にしてきた保育とこばと会が大切にしている保育を併せながら、より良い保育をしていきたいと考えています。

また、10月から地域の育児教室に入らせてもらっています。悩みを抱えたお母さんたちが、ここで話をすると安心して帰っていかれます。こばと会でも育児教室をしています。公立が行っている育児教室から学ぶところが多いと思っています。この地域で子育てをされているお父さんやお母さんたちにとっても、南保育園は重要な場所であると感じていますので、地域の子育て支援はこばと会になっても大切にしていきたいと思っています。

最後に、こばと会から南保育園に実習に来た保育士たちの感想をお伝えします。「どのクラスの子どもたちも明るくてすぐに受け入れてもらった」、「本当に素敵な子どもたちばかりで、この子どもたちの笑顔を守っていききたいと感じた」などです。

私自身も関われば関わるほど、子どもたちがすごく可愛いし、4月からこの子どもたちが安心して過ごしていけるようにしたい。来年1月から来る職員たちと保育のことについてしっかりと話をし、子どもたちの不安が少しでも和らぐように環境を作っていきたいです。

こばと会：（山本保育士）4月から南保育園で合同保育に参加して、もう半年も過ぎたのかと思っています。この半年間で全クラスに入って、一緒に遊んだり生活してきました。子どもたちの顔と名前を憶え、保護者の方々とも朝夕のお迎えの時などに子どものお話をしたりしながら、少しずつ信頼関係を築いてこれたのかなと思っています。

います。

いよいよ残り半年になりますので、これから新たな不安も出てくると思います。これからもどんどんお話をしていきたいと思っていますので、気軽に声をかけてください。

10月は運動会という大きな行事がありました。私は主に4、5歳児の取組みに参加させていただきました。棒のぼりとか鉄馬に意欲的に取り組んでいる姿や、できないときに不安になる姿もあったけど、友達や先生と励まし合いながら頑張っていました。運動会当日はどの子もすごく輝いていて、友達を「がんばれー」って応援している姿に感動しました。

先日、こばと保育園も運動会があって子どもの姿を見てきましたが、南保育園と同じく友達と一緒に頑張っている姿がありました。4歳児は、南保育園と同じで棒のぼりをしたり、大縄くぐりをしたりします。3歳児は、南保育園が畳を登るのに対してこばとは戸板を登ります。そういった身体を使うという点では似ている部分もありますし、リズムやごっこ遊びを大切にしたりする点も同じような保育を行っていると感じています。南保育園で大切にしてきたことを引き継ぎながら、こばと会の良さも取り入れて運動会を行っていきたいと思いました。

4 質疑応答

吹田市： 今回も保護者の皆様から御質問をいただいておりますので、吹田市とこばと会から回答させていただきます。

(吹田市から回答)

(社会福祉法人こばと会から回答)

吹田市： ありがとうございます。では、保護者の方からお聞きになりたいことがあれば、御発言いただきたいと思います。

保護者： これまでもお答えいただいておりますが、あらためて給食費についてお聞きしたいと思います。また、お盆期間の給食状況とお弁当の日は年に何回くらいあるのか教えてください。

次に、緊急時の連絡網と災害時や警報が発令された場合等、臨時休園にする判断基準を教えてください。

こばと会： 先ほど、試食会の感想の中で給食費が上がってもというお話がありました。保護者会の総意としての御意見であればありがたいのですが、あくまで個人の御意見

と思っています。保護者の合意がなければ、諸経費は変更しないということになっていますので、今の給食費である月額 800 円をそのまま引き継ぐということにさせていただきます。

こばと会の保育園では、基本的に月に 1 回、土曜日をお弁当日として設けさせていただき、栄養士の休暇を確保したり、給食室の清掃などを行っています。ただし、南保育園では現状のまま引き継いで遠足の日はお弁当を用意していただくと思っています。

こばと会の園では職員に 6 日間の夏休みがあり、その日をお弁当日にして栄養士が一斉に休みを取るという運用をしています。南保育園には 3 人の栄養士（調理員）を配置する予定ですが、その 3 人はそういったことができないので、何らかの工夫をしながら休みを取っていくということになります。お弁当日設ける予定はありませんが、かなりの負担になると思いますので、またご検討をしていただけたらありがたいと思っています。

緊急時の連絡についてですが、こばと会の園は、大阪府社会福祉協議会の保育園会の会員になっていますので、「よい子ネット」を利用することができます。会費は園が支払っているため、保護者の負担はありません。保護者の方が「よい子ねっと」に登録すると園からの一斉メールが受信できます。

先日予定していた、こばと保育園の運動会は雨で順延になりましたが、朝 6 時の段階で雨天中止の判断をして、保護者の方に一斉にメール送信をしてお知らせすることができました。園が停電になって、パソコンが使えなくなった場合でも、職員の携帯から送信することができますし、不審者情報を送信したりすることもできます。私立では利用している園も多いので、この「よい子ネット」を活用していきたいと考えています。

非常災害時の臨時休園等については、基本的には現在のルールを引き継ぐ予定ですが、変えてほしいなどの御意見があれば保護者の皆さんと話し合っていきたいと思っています。

保護者： 布団乾燥についてです。新入园児で希望する方には、卒園する園児が使っていた布団を贈呈するが、今まで園で行っていた、年一回の布団乾燥は行わないということでした。同じ種類の布団を使っているのに、乾燥の対象となる布団とそうでない布団の区別をするのは大変だと思います。また、新入园児は、持ち帰って家で布団乾燥などを行うことになると思いますが、費用を支払って園で布団乾燥

をしてもらうことは可能でしょうか。

こばと会： 布団の取扱いについては、以前にお答えをいただいたように在園児と新入園児で一定の区切りをつけさせていただきました。管理していくために、布団のチェック表を作成していこうと思っています。

布団乾燥の費用は単価を出すことが可能なので、実費負担をしていただければ、新入園児の方も在園児の方と同様に園で布団乾燥を行います。

保護者： 入園説明会のときにそういった説明をされるのですか。

こばと会： 入園前から行いたいと思っています。今も、南保育園に入園を希望される方がこばと保育園の様子を見に来られています。その際に、布団の取扱いなどについて説明を行っています。

保護者： 来年1月から新しい方が合同保育に参加される予定になっています。具体的な対象者がすでに決まっているならば、短期研修みたいな形で早めに派遣することはできないのでしょうか。

こばと会： ルールとしては来年1月から参加することになっていますが、可能な範囲で実習という形で南保育園に来ています。こばと会の園はフリーの保育士を配置していますので、有給休暇を取る保育士もなく園の職員体制上問題がない場合には、実習に行ってもらうことにしています。今の2人の合同保育の職員と違い、実習に行く職員は補助金の対象外となっていますが、保育の状況を知ってもらいたいので、来年1月を待たずに行ってもらっている状況です。

保護者： 先ほどの説明を聞いていると、布団乾燥の費用を負担していただいたり、ノートを無料で1冊もらえたりして何か申し訳ないなと思っています。こばと会の他の園に比べると、南保育園の費用負担が大きくなると思いますが、吹田市からの補助金などはないのでしょうか。

吹田市： 私立保育所に対する処遇改善の補助金は同様に扱っておりますので、民営化園だけを対象にして、移管後に特別な補助金を交付するということはありません。

移管前については、来年1月から来られる方も含めた合同保育の参加職員の人件費の総額として、最大約1,400万円を予算化しています。

ただし、補助金以外でも様々な支援をさせていただきます。南保育園で言えば、年間250万円程度の土地の賃料をいただかないといけません。それを10年間無償にする予定です。また、建物についても、移管前に大規模な屋上防水工事や細かい修繕を行うことで、移管後の費用負担を軽減していきたいと考えています。

こばと会： こばと会は、職員が長く働き続けることを大事にしたいという思いを持っています。有給休暇の消化率も高いですし、夏休みや特別休暇もあります。南保育園に異動する職員も、同じようにしっかりとお休みを取りながら働き続けてほしいので、色々な努力をしていかなければならないということです。

保護者や子どもたちに寄り添うことはもちろんですが、職員の生活も支えていきたいと思っていますので、その点もご理解いただきたいと思います。

保護者： 給食の話についてももう少し聞かせてください。今の園の給食に不満がある訳ではないですが、こばと会の給食があまりにも良かったので、給食費が多少上がっても、子どもに食べさせてあげたいと私個人は思いました。父母会全員の意見をまとめるのは難しいので、何割以上の賛成があったら給食を充実させるということではできないのかなと思っています。

こばと会： 少しでも負担を少なくしながら、子どもたちに旬のものや美味しいものを食べさせてあげたいと思って、今も一生懸命努力をしています。以前にお伝えしたように、こばと会の園で統一献立を作ったりしながら、コスト削減に努めています。ただ、正直に申し上げるとやはり給食費を上げていただかないと、一品を少なくせざるを得ません。

この三者懇談会に参加されていない保護者の方も大勢おられますし、そういった費用負担のことなどは、移管後に保護者会の皆さんで話し合いをしていただきながら、少しずつ変えていければいいと思っています。

保護者： 保護者は4月からこばと会に移管することを理解していますが、子どもたちには、どのように説明をする予定でしょうか。うちの子は今年の4月から園に入ってから、慣れるのに少し苦労しました。ようやく慣れてきて、今の先生との絆ができ

てきたのに、来年4月にさようならというのでは、不安になるのではないかと思っています。

そういったことも考えると、子どもたちにどのように伝えるのかについて考えるのは大切なことだと思います。

吹田市： 子どもたちにどのように伝えていくかは今も考えているところです。来年1月から各クラスの担任予定となる保育士が来られるので、まずはその先生に慣れてほしい。その先生と一緒に仲良く遊び、保護者と個人懇談をして、その後の生活発表会を終えた頃に子どもたちには伝えようと思っています。

今、保護者の有志の方と職員や保護者のOBの方が、『「ありがとう&これからも」の会』という会を考えてくれています。保護者と子どもたちや卒園児たちが、先生たち長い間ありがとう、これからも頑張っねと伝えていく会です。生活発表会が終わった後に、そういう会のなかで伝えたいと思っています。

新年度のクラス担任は、4月の入園進級式のときに発表しています。その時に、1月から来られていた先生と4月から来られた先生が担任になると、こばと会からお伝えしてもらいたいと思っています。

保護者： 南保育園から残ってくれるアルバイト職員6名とパート職員10名のお名前は4月まで分からないのでしょうか。保護者としては、早く名前を知りたいと思っています。

また、残ってくれる方の職員配置をどのように考えているのかと、移管後の三者懇談会をどの程度の頻度で開催する予定なのか教えてください。

こばと会： 残ってくれる方がおられる一方で、色々な事情から残ることができない方もおられます。また、3月までは言わないでほしいという方もおられますので、公表については慎重に考えていきたいと思っています。

配置については、子どもたちが安心できるように、できるだけ各クラスに配置していきたいと思っていますが、個別のお話合いで様々な希望条件をお聞きしたりもしています。そういったご希望も配慮しながら調整していきたいと思っています。

三者懇談会を開催するには日程調整が必要となってきますので、緊急的な課題が生じた場合は別として、2か月に1回、第3金曜日のような形にして、保護者

の皆さんが集まりやすい日程で定例化した方が、予定を立てやすいのではないかと考えています。そういったやり方も含めて保護者会とお話をさせていただきながら、決めていきたいと考えています。

保護者： 以前の三者懇談会では、パート・アルバイト職員に条件提示をしたけれども、1人の応募もなかったとお聞きしています。今回、これだけたくさんの方が意思表示をしてくれたのはなぜですか。

こばと会： 具体的な賃金の額について申し上げることはできませんが、最初はこばと会の非常勤職員の労働条件を提示させていただきました。ただ、こばと会の非常勤職員と公立のアルバイト職員はボーナスや処遇改善費用の有無などで、大分考え方が異なるためイメージしづらかったと思います。そこで、公立の日給ベースに近づけた形に変更して、条件を再提示させていただきました。

もちろん、その他の要因として南保育園の子どもたちのことを第一に考えていただいたと思いますし、園長や職員の方が築いてこられた南保育園の雰囲気がとても好きなので、引き続きここで働きたいと思っていただけたのかなと考えています。今回は、私たちも色々と学ぶことがあり、こばと会全体の職員の労働の在り方、労働環境の在り方を考える良い機会になりました。

吹田市： 他に御意見・御質問がないようでしたら、これで終了とさせていただきます。次回の内容と開催日時につきましては、こばと会様や保護者代表様と調整させていただきます。遅い時間までありがとうございました。